

学 校 名	小金井市立南小学校	実施年月日	平成16年1月14日
指 導 者	齊藤 明子	授業コード	B-8
学 年	6学年	教 科	図画工作
単 元 名	ときめきのしゅんかん ～カレンダーづくり～		
単 元 の 目 標	カレンダーに貼る版画づくりを通して、彫り進み版画の効果を考え、表したい感じに刷ることができるようにする。		
単元の指導計画	第1次 導入(彫り進み版画について)・・・本時(第1次) 第2次 制作・・・(第2時～第7時) 第3次 鑑賞・・・(第8時)		
本時のねらい	NICERが取り扱っている彫り進み版画のページを見て、彫り進むごとに変化する様子をとらえる。また、その特色を作品づくりに活かす。		

本時の学習活動の展開

導 入	<p>【1】 「新しい年のカレンダーをつくろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを使って彫り進み版画の作品を見せる。 ・第一版は白く残したいところを、第二版は一色目の色を残したいところを彫っていることを理解できるようにする。
展 開	<p>【2】 試作をしてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彫ったところには色がつかないことを理解できるようにする。 ・プリントを配り、彫刻刀の使い方を思い出せるようにする。 ・練習なので、カレンダーにとらわれず、自由に制作する。 <p>【3】 道具の扱いかたが適切かどうか確認する。</p> <p>【4】 彫りの様子を見ながら、一版目を刷ってみよう声かけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・版木にまんべんなく色をつける。 ・ばれんで円を描くようにこする。 ・二版目を彫る前に色を洗い流す。 ・一色目の色を残したいところを彫っていく。
ま と め	<p>【5】 第一版を例にとり、第二版は彫ったところに絵の具がつかないので、一版目の色が残ることを説明する。</p>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<p>該当学年は、これまで単色の版画を経験してはいるが、一版多色刷りは初めてである。一つの版で何色もの色を重ねていく方法を理解するには、一版一版の刷り終わりが記録されている資料が重要であると考えた。4枚の作品で、変化している点に着目し、彫りのイメージを明確にしていきたい。</p>

(備考1) 枠の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。